

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 1・2号機サービス建屋における
発煙に関する原因と対策について

平成 20 年 9 月 11 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

平成 20 年 7 月 22 日午前 10 時 50 分頃、定期検査中の当所 1・2号機サービス建屋 3 階（非管理区域）において、放射線監視設備用電源から発煙を確認したため、ただちに消防署に通報するとともに当該電源を切断し、発煙は停止いたしました。その後、消防署の現場確認により、午前 11 時 26 分に鎮火が確認されました。 [\(平成 20 年 7 月 22 日お知らせ済み\)](#)

調査の結果、今回の事象の原因は、放射線監視設備用電源の部品の一部である小型変圧器の設計不良により、巻線内部の温度が規格値を超えた高温の状態に継続使用したため、巻線間の絶縁が劣化して短絡が発生し、発煙に至ったものと推定しております。

対策として、設計を見直した小型変圧器を製作し、巻線内部の温度に問題がないことを確認した後、交換いたしました。

また、発電所内でモニタリングポストの測定およびデータ伝送用に使用されている他の電源を調査した結果、同様な小型変圧器を使用している電源が他に 3 台あることが確認されました。これらについても、当該小型変圧器と同様に設計を見直したものに交換いたしました。

以 上

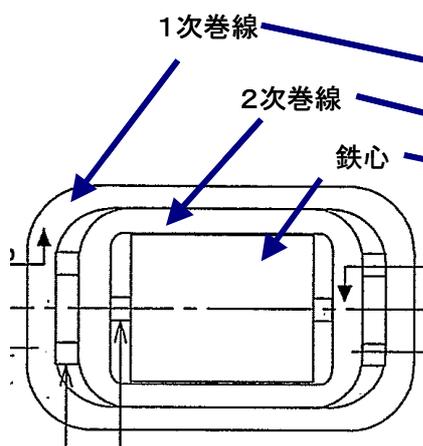
小型変圧器の状況

■ 放射線監視設備用電源



当該小型変圧器

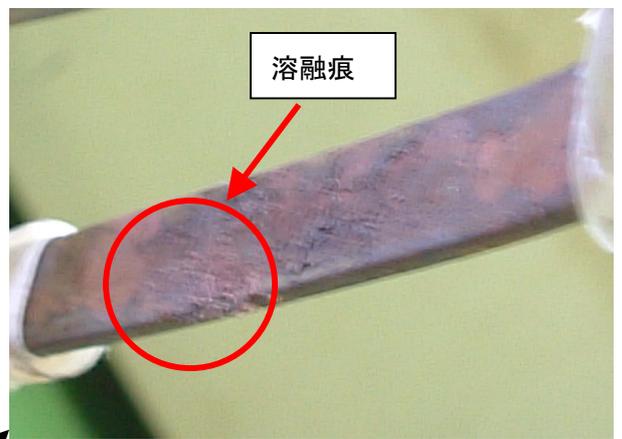
■ 発煙した小型変圧器の状況



一次巻線



二次巻線



絶縁紙を取り除いて拡大